

平成
20年度

中小・ベンチャー企業向け 知的財産権セミナー

四国地域知的財産戦略本部事業

開催目的

中小企業は、我が国の産業基盤を支え、地域経済の担い手として極めて大きな役割を果たしています。また、ベンチャー企業に対しては、新産業の創出の観点から期待が高まっています。昨今の厳しい経済情勢の下、多様である活力ある成長発展をしていくために、中小・ベンチャー企業は知的財産の重要性を改めて認識し、その戦略的な保護・活用に取り組む必要があります。

しかしながら中小・ベンチャー企業は、多くの場合、事業を支える革新的な技術を有していても、それを知的財産として保護し活用するという意識が乏しく、また大企業に比べて、実施体制も決して十分とはいえません。

そこで、中小・ベンチャー企業の経営者、後継者を主たる対象として、競争力・防衛力の強化に知的財産権の活用が有用であることを認識していただくと共に、企業経営における知的財産戦略として有益となるセミナーを開催いたします。

受講料
無料

第1回目

平成21年2月5日(木) 13:15~16:30

13:15~13:30

JST技術開発助成制度について
JSTイノベーションサテライト徳島担当者

13:30~16:30

①経営者ならば知っておきたい
知的財産管理のポイント
~知的財産権を知らずにあなたの会社は守れるか!~

②弁護士から学ぶ。
裁判事例からみた
模倣品対応策とは。

講師：弁護士法人 淀屋橋・山上合同
弁護士 藤川 義人 氏



第2回目

平成21年2月17日(火) 13:15~16:30

13:15~13:30

JST技術開発助成制度について
JSTイノベーションサテライト徳島担当者

13:30~16:30

①知的財産権制度活用の
成功事例と失敗事例

②ライセンスとイノベーションへの
創出に向けた
産官学連携における
知的財産活用

講師：岡本IPマネジメント

代表 岡本 清秀 氏

日本ライセンス協会 前会長
元 オムロン㈱知的財産担当顧問



定員 各 40 名

会場

徳島県立
工業技術センター

徳島市雑賀町西開11-2
TEL 088-669-4711

主催：四国経済産業局・JSTイノベーションサテライト徳島

共催：徳島県

徳島県実施担当：社団法人発明協会徳島県支部

徳島市雑賀町西開11-2
(徳島県立工業技術センター内)
TEL 088-669-4766



● 講師のプロフィール並びに参加申込書は裏面をご覧ください。

弁護士法人 淀屋橋・山上合同
弁護士

藤川 義人 氏
(ふじかわ よしと)

【学 歴】

早稲田大学法学部卒業
京都工芸繊維大学繊維学部応用生物学科卒業

【職 歴】

平成 7年 3月 司法修習終了(修習47期)
平成 7年 4月 弁護士登録(大阪弁護士会所属)
平成 9年 6月 弁理士登録

【公職等】

平成14年10月 京都工芸繊維大学地域共同研究センター客員教授(現任)
平成15年10月 奈良先端科学技術大学院大学知的財産本部
知的財産専門アドバイザー(現任)
平成16年 9月 「近畿地域における中小・ベンチャー企業の知的財産戦略基礎調査
研究会」委員
平成16年12月 文部科学省委託「ポスト2005における文部科学省のIT戦略に関する
調査研究会・法制度問題等分科会」委員
平成19年 4月 文部科学省委託「地域における教育情報発信・活用促進事業」に係
る「教育・学習情報の発信・提供の在り方に関する調査研究事業」
ガイドライン制作委員会委員
平成19年 4月 京都大学法科大学院 非常勤講師(現任)
平成20年 4月 京都大学産官学連携センター客員准教授(現任)
平成20年 6月 iPSアカデミアジャパン株式会社 監査役(現任)

【弁護士会関係】

平成19年～ 大阪弁護士会総合法律相談センター運営委員会 副委員長
平成20年～ 大阪弁護士会知的財産委員会 副委員長

【主要著書・論文等】

山上和則＝藤川義人編集「知財ライセンス契約の法律相談」新・青林法律相談19(青
林書院)共同編集
「よくわかる知的財産権」日本実業出版社

【講義概要】

今回は、経営者から見た知的財産管理のポイントと裁判例から見た
模倣品対策という2つのテーマでお話させていただきます。前者につ
いては職務発明と営業秘密管理をめぐる話を中心にいたします。後
者については意匠法、不正競争防止法、商標法等をめぐる裁判例から
模倣品対策の成功例や失敗例を分析いたします。いずれについても、
中小・ベンチャー企業の皆様の実務のお役に立てる内容にしたいと
思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成20年度

中小・ベンチャー企業向け
知的財産権セミナー

講師のプロフィール

岡本IPマネジメント
代表

岡本 清秀 氏
(おかもと きよひで)

【事務所の概要】

1971年から企業において国内外の知的財産に関する権利取得、調査・鑑定、係争・ラ
イセンス、戦略企画の実務とマネジメント、ならびに国内外組織の団体活動に携わ
ってまいりました。企業での経験を活かし、現在は、知的財産のコンサルタント事務
所「岡本IPマネジメント」を開設し、国内外の企業、特許・法律事務所に知的財産に関
するマネジメントの相談、支援のサービスを提供しております。

【略歴】

1970年 大阪市立大学 工学部電気工学科 卒業
立石電機(株)(現 オムロン(株))入社 制御本部に配属
1971年 特許部へ異動
1973年 米国カリフォルニア研究開発子会社OMRON R&D Inc. 駐在
1977年 帰国 特許部へ復属
1982年 米国ワシントンDC法律事務所Cushman, Darby & Cushman 研修
1997年 知的財産担当部長
2006年 知的財産部長を退任し、知的財産担当顧問
2008年 オムロン(株)を退職し、岡本IPマネジメント設立 現在に至る

日本ライセンス協会 前会長 (2008年～)
日本知財学会 理事(2006年～)
国際ライセンス協会 IT&E-Commerce委員長(2004年～05年)
PPA(太平洋知的財産協会)第2委員会(ライセンス)委員長(1996年～98年)

【著書・論文等】

「日本の大学との連携に、企業のブランド志向の壁」(2008年10月産学官連携ジャー
ナル)
「ライセンスとイノベーション」(2007年7月産学官連携ジャーナル)
「知的財産ライセンス契約の法律相談」(2007年4月 青林書院)共著
「知的財産契約の理論と実務」(2007年3月 日本評論社)共著

【講演内容】

特許は、有力な特許1件を保持することで世界の大企業を相手に互角
に戦うことができるベンチャー企業にとって貴重なツールです。ベ
ンチャー企業から大企業に成長すると共に歩んできた知財経験をも
とに、ベンチャー企業の事業を成功させるための知財戦略をご紹介します。

中小・ベンチャー企業向け知的財産権セミナー 参加申込書

(社)発明協会徳島県支部 行 (FAX 088-636-3575)

平成 年 月 日

会社名 _____ 電 話 _____

住 所 _____ F A X _____

氏 名	役 職 名	受講を希望する回数に○印をお付けください。		
		・ 第1回目	・ 第2回目	・ 両方
		・ 第1回目	・ 第2回目	・ 両方
		・ 第1回目	・ 第2回目	・ 両方

※お申込みに際し、ご提供いただきました個人情報に係る事項については当協会の「個人情報の保護に関する基本方針」
(詳しくは当協会ホームページhttp://www.jiii.or.jpをご覧ください)により遵守いたします。